

平成三十年 日和佐八幡神社創祀七百年祭趣意書

日和佐八幡神社は千三百年ごろの創祀といわれ、主祭神誉田別命様が御鎮座されてより七百年は過ぎていゝるものと推測されております。

現在の当社の社殿は明治四十一年（一九〇八）年に大遷宮されており、既に百年余りの歴史を刻んでおります。

百余年の本殿に付随する瑞龜閣、膳殿（炊事場）、倉庫兼便所も傷んでおり、さらには秋季例大祭で幸行する御神輿においては激しく傷みが進んでおり、例大祭の度に御神輿の飾りが欠落する状態であり、直ちに修繕をしなければならぬことから、次のとおり事業を計画しているところです。

地方においては、今なお厳しい経済情勢ではありますが、七百余年の歴史を誇り、盛大な大祭を斎行する伝統文化を後世に永く伝えるためにも何卒ご理解ご協力を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

日和佐八幡神社 宮 司 永 本 金 二
日和佐八幡神社 総代会長 櫛 山 准 一
〃 総 代 会 一 同
日和佐八幡神社創祀七百年祭
実行委員長 大 城 一 樹

由 緒

一三〇〇年頃の創祀といわれ、もと八幡宮と称した。
『阿波誌』に観応二年（一三五二）八幡祠日和射浦に置くことあり。
薬王寺所蔵の『四河内大小神社神体控』に、惣社八幡菩薩日和佐浦村観応二年遷宮仕候との古き棟札の控ありとある。

東京にある国立博物館の所蔵の円卓に「歳次、千時康暦元年（一三七九）五月日己未、阿波国海部郡日和佐保、八幡宮、願主、神主、玄勝」と刻す。

『海部郡誌』には、日和佐は往古和射郷の中心であった地で式内和耶（射）神社の所在地と推定されることから当八幡神社の前身は式内和耶（射）神社ではないかとある。

当社が所蔵している永正十七年（一五二〇）の棟札には、「奉造管日和佐八幡大神宮御社壇上棟永正七庚辰年 大願主松島五郎左衛門永真、源重弘、源真弘、源義家、弥次郎、神主八郎、鍛冶六郎右衛門、大工清原広家、氏郎右衛門」と録す。

計 画 概 要

一. 事業内容

- 七百年祭の斎行（平成三十年九月吉日）
- 御神輿の大修繕
- 瑞龜閣、膳殿（炊事場）の修繕
- 倉庫兼便所の建替

二. 募財目標金額

総額 金貳千万円

- 御神輿及び御神輿納屋の修繕 金 六百万円
- 瑞龜閣、膳殿（炊事場）の修繕 金 壹千万円
- 倉庫兼便所の建替 金 四百万円

※既に（参百三拾万円の積立及び寄付金有）

三. 募財期間

自 平成二十五年十一月一日から
至 平成三十年八月三十一日まで

四. 募財詳細

本事業の趣旨にご賛同下さる皆様のご奉賛を謹んでお願い申し上げます。

- 一口…二千元とさせていただきますが、是非とも複数口のご協力の程お願いいたします。また、口数に拘らず五千元、壹万円もしくはそれ以上のご協力を頂ければ幸いです。
- ご寄付頂きました方のご芳名につきましては、当社境内及びホームページにて掲示させていただきます。

お問い合わせ及び寄付金先

日和佐八幡神社 宮司 永本 金二
電話／ファクシミリ：0884-77-2474
E-mail：info@hiwasahachiman.com

キ リ ト リ

平成 年 月 日

日和佐八幡神社 御中

日和佐八幡神社七百年祭記念事業寄付申込書

一、金 _____ 円也

氏名 _____ 電話 _____ () _____

住所 _____